
akunomusume

鏡音リン

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

a k u n o m u s u m e

【Nコード】

N 3 6 7 6 P

【作者名】

鏡音リン

【あらすじ】

この物語は、悪ノPさんが作った悪の娘をもとにして作った物

です、つぎは悪ノ召使、リグレット・メッセージ、白ノ娘
緑ノ娘、青ノ王子、悪食娘コンチーターなどなど

も投稿したいと思っています、よければその作品も読んで
いただけるととってもとっても嬉しいです、

王女がした事

昔々あるところに、悪逆非道の王国の頂点に君臨するのは齡十四の王女様がいました

そんな王女様の住んでいるお城には絢爛豪華な調度品、顔の良く似た召使、

愛馬の名前はジョセフィーヌ全てが全て彼女の物でした。

「お金が足りなくなつたなら、愚民どもから搾り取れ！」

と王女様はすつごくわがままな王女様でした、

「私に逆らう物たちは肅清してしまえ！」

といってたくさんの罪の無い人々を殺していました、

悪の華が今日も可憐に咲く鮮やかな彩で

でも、周りの哀れな雑草は嗚呼養分とくなり朽ち

ていく

そんな暴君王女が恋するのは海の向こうの青い人

だけでも彼は隣国の緑の女に一目ぼれ、

でもそんな事を王女様は許しませんでした

嫉妬に狂った王女様、ある日大臣を呼び出して。

静かな声で言いました、

「緑の国を滅ぼしなさい」

幾多の家が焼き払われ幾多の命が消えてゆく悲しむ人々

の嘆きは王女には

届かない、

「あら、おやつの時間だわ」

悪の華可憐に咲く

狂おしい彩りで

とても美しい花なのに嗚呼棘が多すぎて触

れない

ある日人々は考えました、革命を起こそう！あの悪の娘を倒そう！人々は

計画を考えましたその革命軍を取り仕切っていたのは赤い鎧をまとった女剣士でした

人々のつもりに積もったその怒り、その戦いは国全体を包み込んだ。

でも「長年の戦で疲れた兵士たちなど敵では無い」王女はそうつぶやきました

でもついに王宮も囲まれて家臣たちも逃げ出した
かわいく可憐な王女様ついに捕らえられた、

「この無礼者！」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3676p/>

akunomusume

2010年12月8日01時52分発行